

# 技術とヒューマニズムの融合：住友商事の企業精神

北京師範大学学生代表

見学日時：2024年12月2日（月）16:30-20:00

見学場所：住友商事

## 見学概要

1. 「総合商社」という日本特有の業態及び住友商事が中国で行っている事業活動についての紹介。
2. 会社概要、事業内容、住友グループの歴史や事業精神及び住友商事の経営理念などの紹介。
3. 住友商事の3名の従業員によるそれぞれの職業経験の紹介。
4. 懇親会での従業員との交流。

## ご存じですか？

1. 住友商事の経営モットーは何か？
  - ①信用を重んじ、確実を根本理念とする。
  - ②目先の利益に走らない。
2. 住友商事グループが追い求める企業イメージは何か？

常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指している。



3. 住友商事グループの経営理念は何か？
  - ①〈企業使命〉健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する。
  - ②〈経営姿勢〉人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。
  - ③〈企業文化〉活力に溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。



#### 4. 懇親会において住友商事の従業員と交流した感想は？

従業員の皆さんは積極的に私たちと交流し、日本での感想を訊ねてくれた他、私たちからの質問にも丁寧に答えてくれた。彼らはとても人当たりが良く、非常に友好的だった。また日本人従業員の多くが中国語を話し、中国語で私たちと交流するよう努めていた。彼らのそうした姿勢から、私たちも勇気をもらい、間違いを気にせず日本語を使ってコミュニケーションを取ろうという気になった。積極的に誠実な態度であれば、相手も快く応じてくれたり、助けてくれたりするし、こうしたコミュニケーションの中で自分の語学力も早く向上すると思う。

### 感想

長い歴史を持つ企業である住友商事に関しては、その歴史の継承が最も印象深かった。住友グループは17世紀の別子銅山を母体とし、数世紀にわたる発展を経て金属、エネルギー、機械、化学工業等多くの分野を手掛ける大型総合商社となっている。見学においては、住友商事による歴史への尊重及び伝統の継承を強く感じ、こうした継承は企業文化のみならず、その安定した経営戦略や長期的な発展計画にも示されていた。住友商事による歴史の継承は、企業が持続的に発展する上での重要な基盤は歴史への尊重や伝統の維持であることを私たちに告げていた。

その他、イノベーション能力や世界的視野もまた世界的な貿易企業には欠かせない能力そして条件である。

住友商事のイノベーション精神は極めて優れていた。見学では、環境保全及び再生可能エネルギー分野において研究開発に積極的な投資を行い、環境技術や関連製品の発展を推し進めている他、デジタルトランスフォーメーションを通じ、業務効率及び市場への反応速度を高めているなど、住友商事が多くの事業分野で新たな技術や業務モデルを常に模索そして実践していることを知った。

もちろん、世界的視野も住友商事の大きな特色である。世界的な貿易企業である住友商事は世界規模で幅広い業務ネットワークや提携パートナーを擁している。見学の際、私たちは住友商事がいかんにしてそれぞれの国や地域の市場の特徴を基に事業戦略を定めているのか、そしていかんにして異文化間の管理や協力を通じて世界的リソースの合理的配置を実現しているのかについて知ることができた。また住友商事の事業は世界にあまねく分布していることから、リソースの配分制度や応急メカニズムの整備はとても重要であり、質疑応答の際、私たちは住友商事のそうした面での取り組みについても理解を深めることができた。いずれの面においても、住友商事は一貫した世界的スタンスを維持しており、絶え間ないイノベーションとの原動力を活用し、企業自身の発展を推し進めると同時にグローバル社会

の進歩にも貢献し続けている。

そして私たちは住友商事における経営モットー、企業イメージ、経営理念及び行動指針等の多くの企業精神について知ったが、これらの理念は住友商事全体の運営における根本的要求であるのみならず、従業員1人ひとりが心の中に秘めた期待そして追求でもあった。正にこうした従業員個人から企業全体にまで浸透した共同の信念が、インフラ建設、エネルギー開発、化学材料革新、情報技術、金融サービス及び物流等多くの重要分野にわたる住友商事の事業の世界規模の拡大を牽引している。また住友商事の先輩方による職業経験の紹介の際にも就職活動に関する適切な提案を頂いた。その中では、企業を選択する際にはまずその企業のモットーや理念に注目する必要があり、企業が自身の期待に合っているか、企業の発展の方向性が自身のキャリアプランと合っているか等は私たち多くの求職者が就職し、その企業において自身の価値を実現できるかどうかに関係しているとお話があった。

また私たちは住友商事の奉仕の精神と社会への貢献にとっても感動した。住友商事は相互信頼と相互利益の提携モデルを通じて事業所在地及び提携パートナーから高い評価を受けるなど、双方の共同での成長と繁栄を促進している。こうした精神による手引きの下、従業員は日々の仕事において知らぬ間に感化され薫陶を受け、個人として社会に奉仕するとの想いを抱くのみならず、それ以上に企業が実際の行動によりそうした理念を実践するプロセスを目にし、またそれに関わることで、そうした理念への共感や帰属意識が深まっていく。そして従業員らは自身の仕事の成果が社会に有益な実際の行動に転化されるのを目にした時、心の中で大きな達成感と満足感がわき起こり、そうしたポジティブな反響が、彼らが努力を続けそしてたゆまず社会に貢献する上での強い原動力となっている。こうして作られた好循環は、住友商事内部の文化の積極的構築を促進するだけでなく、それ以上に企業の長期的発展と社会的責任の履行に確かな基盤を打ち立てるもので、優れた企業が備えるべき姿と責任感を示しており、こうした点はまた私たちの将来的なキャリアプラン構築に手本を示すものであった。

今回の住友商事での見学は企業運営を学ぶ貴重な機会であるのみならず、それ以上に企業文化、経営理念、企業の魅力を深く体験する機会でもあった。未だ大学生の私たちにとって、驚きと同時に数多くのインスピレーションが得られた今回の経験は、私たちが将来的に社会的責任を担い、人生における様々な可能性にチャレンジし続け、次第に世界的競争力を備える人材になり、国際的な交流や提携に携わることを目指す原動力となるだろう。